

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 <input type="checkbox"/> 支援部門 健福-34 保健衛生運営事業				
主管課	市民健康課	関連課			
分野名	健康福祉				
目標 (目標値)	地域の関係団体との協議により市民の健康衛生に対する意識の啓発を促して疾病の予防を図る。				
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)
	人口	177,895人	177,224人	177,204人	
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯	
運営資源状況	事業の対象者数				
	決算値(千円)	90,561	78,921	62,496	
	(国・県)	1,066	1,213	881	
	(負担金等)	0	0	0	
	(一般財源)	89,495	77,708	61,615	
	人員配置数	0.6人	0.6人	0.6人	
	人件費(千円)	4,639	4,802	5,168	
事務事業 運営経費	協働のパートナー	献血協力団体 鎌倉市医師会	献血協力団体 鎌倉市医師会	献血協力団体 鎌倉市医師会	
	総事業費(千円)	95,200	83,723	67,664	
	市民1人当りの経費(円)	535	472	382	
	対象者1人当りの経費(円)				

ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名⇒								

指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)
鎌倉市内での分娩割合を高める	△	目標値	50%	55%	55%	55%	55%
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	47.0%	51.4%	50.0%	54%	

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面) (千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止		
保健衛生運営事業の一部	89,369	医療・保健関係団体支援事業	9,846	今後の方向性	B	理由・手法 各団体の運営費補助金について、活動内容と収支決算などから補助基準を整理する必要がある。
		産科診療所支援事業	59,124	今後の方向性	B	理由・手法 医師会立産科診療所の安定的な運営をめざし、鎌倉市医師会とともに運営改善に取り組む必要がある。
保健衛生運営事業の一部	1,052	保健衛生運営事業	7,248	今後の方向性	B	理由・手法 安全で、安定した血液供給のため、献血事業への支援が必要である。
献血事業	0					
地域自殺対策事業	140					

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	(産科診療所運営)平成25年9月以降市内に新しく産院が開院され、分娩取扱件数が大幅に減少したことに伴い、設立当初に見込んだ収入に達しないため、補助金額が増加している。 (献血)献血者数の維持・拡大が必要。 (地域自殺対策)住民に対する普及啓発はまだ不十分。						
課題解決のための取組	(産科診療所運営)鎌倉市医師会立産科診療所「ティアラまくら」の運営を支援し、市内で安心して子どもを出産し、育てられる環境の整備と新たな取組みとして予防接種や産褥ケアの実施。 (献血)ホームページ、広報まくら等により、献血機会の都度、広報を実施。				取組の結果	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決	
未解決の課題	(地域自殺対策)住民への更なる啓発、庁内での職員への研修実施が必要である。						
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)		➡	<input type="checkbox"/> ①効率性	<input type="checkbox"/> ②妥当性	<input type="checkbox"/> ③有効性	<input type="checkbox"/> ④公平性
今後の方向性 (課題解決に向けた取組・H26予算への反映)	地域の関係団体との協議により、市民の健康衛生に対する意識の啓発を促す。				➡	B	※口事業完了

評価者名 市民健康課長 磯崎 勇次

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△							
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性				
保健康生 運営事業	市民への健康啓発等を行っている団体の運営を推進するために補助金を交付した。 鎌倉市医師会立産科診療所「ティアラまくら」の安定的な運営をめざし、補助金を交付した。				○	○	○	○				
	主な 個別 事業	サイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△						
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性			
		89,782	産科診療所運営協議会委員等報償費	186	154	○	○	○	○			
		89	消耗品費	120	116	○	○	○	○			
		89	救急医療・健診等保険料	907	907	○	○	○	○			
		89	地域医療センター維持管理費負担金	2,941	2,922	○	○	○	○			
		89	県ドクターヘリ運営事業運営費負担金	521	521	○	○	○	○			
		89	公衆衛生協会鎌倉支部等負担金	96	88	○	○	○	○			
		89	医師会運営費補助金	3,130	3,130	○	○	○	○			
		89	歯科医師会運営費補助金	1,696	1,696	○	○	○	○			
		89	衛生協議会運営費補助金	2,985	2,985	○	○	○	○			
		89	薬剤師会運営費補助金	104	104	○	○	○	○			
89	助産師会等運営費補助金	204	204	○	○	○	○					
※□ 事業完了	782	はじめてまして赤ちゃん事業委託料	240	240	○	○	○	○				
	782	産科診療所運営費補助金	52,784	76,468	○	○	○	○				
献血事業	神奈川県赤十字血液センターが実施する献血事業に対して、献血者への謝礼を配布した。 ホームページ等での広報、市内の団体との連携を通じて献血への参加を呼びかけた。				○	○	○	○				
	主な 個別 事業	サイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△						
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性			
		92	献血協力者謝礼	139	0	○	○	○	○			
		※□ 事業完了										
		地域自殺対 策事業	「いのちの大切さ」「自殺に関する基本的な知識」等の普及啓発のための講演会を開催。 お互いに、つながり見守ることの大切さを伝えるゲートキーパー養成研修を開催。				○	○	○	○		
			主な 個別 事業	サイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
								①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
				1431	講演会講師等謝礼	210	90	○	○	○	○	
				1431	啓発用消耗品費	50	50	○	○	○	○	
				※□ 事業完了								
				小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
									①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
主な 個別 事業	サイムスコード				個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
								①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	※□ 事業完了											